



つながろう! コラボしよう! 元気な“ながの”をつくろう!

No.3  
'15冬

# まんまる

市民協働サポートセンター

TEL.026-223-0051 FAX.026-223-0052

〒380-0835 長野市新田町 1485-1 もんぜんぷら座 3F

npo@nagano-shimin.net http://nagano-shimin.naganoblog.jp

..... NPO ・ 市民協働情報誌

## 特集「NPO×○○」



### 企業×NPO

## ソーシャル・ビジネス勉強会開催!

長野に新しいコミュニティを作ろう!と昨年7月に設立した「ながの協働ねっと」。10月2日、長野県中小企業家同友会と「ソーシャルビジネス勉強会」を市内で開催し、40人が出席しました。

研究会の第一の目的は、企業とNPOの理解と関係づくりです。第二は社会課題を共に考え、協働事業を模索することです。「ソーシャルビジネス」とはビジネスを通じて社会課題を解決していくもの。NPOにとってビジネス的なアプローチを学ぶ絶好の機会です。

第1回目のテーマを「事業の社会性」としました。自己紹介では、それぞれ自身自身の生き方や関心事を発表。笑いの絶えないユニークな自己紹介が続ぎ、互いの共通点や人柄を知り合いました。

その後、NPOの事例発表では「夢空間松代のまちと心

を育てる会」の歴史と文化を掘り起こし伝えまちづくりに活かす活動について、「エリアネット更埴」のITを通じた地域でのコミュニティづくり、「ホットラインながの」の生活支援活動と、NPOの経営と雇用について発表しました。

同友会からは「アドイシグロ」社長が福岡県中小企業家同友会の取り組みを通じたソーシャルビジネスについての説明、「シソーラス」社長が新しい働き方をヒントにしたソーシャルビジネスの可能性について発表。最後にNPOと企業の違いや、社会性とはなにかについて当センター長が説明しました。

同友会から「NPOと企業の目的が一致していることがはつきりした」と感想も出て、NPOと企業をつなぐ歴史的な第一歩を踏み出すことができました。第2回目は1月21日を予定しています。

## 「ながの協働ねっと」の活動が続々と!

当センターが事務局をつとめ支援している「ながの協働ねっと」。続々と活動が繰り広げられています。前ページで紹介した、ソーシャルビジネス勉強会は、「企業×NPO」のコラボ企画です。このページでは、「行政×NPO」の県職員研修会、そして「NPO×NPO」の他の非営利活動団体とのコラボイベントを紹介します。

### 行政×NPO

#### 県職員研修で NPOが活動をアピール

昨年12月16日長野県立図書館で、長野県職員研修に、ながの協働ねっとの会員9団体が出席し活動をアピールしま



NPO活動について熱心に聞く県職員

した。研修のタイトルは「地域に飛び出す職員支援研修」です。県内4力所で開催。県職員がさまざまな地域で活動するNPOやボランティア団体と出会い、つながった団体のイベントなどに参加してもらおうというものです。16日は約40人の職員が参加しました。

午前中は法政大学現代福祉学部講師の水野雅男さんが、金沢市で町家を生かしたまちづくりの事例を紹介し「新しい創造的な価値を生み出すこと。ワクワクする体験が鍵となりコミュニケーションが生まれ」と話し、楽しんで活動することの重要性を訴えました。午後は実践者のアピールタイム。ながの協働ねっとの会

員でもある「NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会」、「NPO法人飯綱高原よっこらしょ」の2団体と、県職員若手有志の「SHIP(信州イノベーションプロジェクト)」、木島平で不登校やニートなどの支援をする「NPO法人はーむほいす」が発表。

「ながの協働ねっと」も組織の成り立ちや活動の目的、事業内容、構成団体などについて説明しました。

マッチングセッションでは、上記の他に、ながの協働ねっとから7団体「NPO法人エリアネット更埴」「NPO法人あつぷるひろば」「ハッピー・スポット・クラブ」「NPO法人CFM実行委員会」「NPO法人心の休憩所アトリエ虹」「NPO法人ライフデザインセンター」「NPO法人信州アウトドアプロジェクト」がそれぞれの活動をアピールしました。

NPOが県職員に対し直接説明し、つながるイベントは初めてです。協働という目標への小さな一歩となりました。

### NPO×NPO

#### 味噌汁が人と食と地域をつなぐ

市民や企業・NPOの協働プロジェクトとして活動している「一杯の味噌汁プロジェクト」。味噌汁を通して人と人、食と地域をつなぐことを目指し活動が続いています。

子どもたちが家庭を巣立つ時、体や心の調子があつたか、いごはん味噌汁を食べて整えることを伝えてほしい。そのため、自分の力でごはん味噌汁を作る子どもたちを育てたい。そんな思いから



千曲市市民活動団体交流フェスタ



上高田保育園たつこの祭り

スタートしました。

9月14日、ながの忍者をふやそう大作戦主催のイベント「忍者ウォーク」で、味噌汁のふるまいを実施。きのこたっぷり味噌汁を参加者約100名にふるまいました。

11月14日には、千曲市市民活動団体交流フェスタ、30日には上高田保育園たつこの祭り、味噌ボールちゃんづくりワークショップを実施。味噌と粉末状にしたダシをベースに、乾燥物のワカメや麩、とろろ昆布・鯉節・ゴマなどを入れてラップで丸めたものを、かわいいペーパーナフキンでラッピングして作る、お湯を注ぐだけで簡単に味噌汁が飲める味噌ボールちゃんが子どもたちに大人気でした。

今後はニーズ調査なども取り入れながら、楽しく学べる場を提供していきます。

# ながのまちづくり活動補助金

## 市民協働サポートセンターで補助金申請等の相談承り中!!

### ながのまちづくり活動補助金の申請受付始まる!

長野市では、市民の皆さんが自主的に取り組むまちづくり活動を、資金面で支援しています。

「地域や社会のためになる活動をしたいけど資金がない」、「活動を充実したい」、「軌道に乗るまでの資金が不足している」などとお考えの皆さん、「ながのまちづくり活動補助金」をご活用ください。

#### ■補助金の種類・金額

##### 【企画・研究部門】

企画・研究・計画策定を主な目的とする活動  
○補助率10分の10（限度額10万円）

##### 【実践活動部門】

- ①一般区分：市民が自主的に企画し、実施する活動
  - ②テーマ区分：①のうち市の優先施策に関連する活動  
H27年度テーマ【中山間地域の活性化・子育て、子育て環境の充実】
- 一般区分、テーマ区分ともに次の3コースがあります。
- ホップコース（1回目）  
補助率10分の8（限度額100万円）
  - ステップコース（2回目）  
補助率10分の6（限度額60万円）
  - ジャンプコース（3回目）  
補助率10分の4（限度額40万円）
- ※ホップコースには、設立2年未満などの条件に該当する団体のみが申し込みできる「スタート枠」を設けています（限度額50万円、一般区分のみ）。

※各部門・コースの補助回数は、同一事業に対し1回限りです。

#### ■対象要件

- ▶団体／構成員が5人以上（市内在住・在勤・在学の人を含む）の市内で活動する団体
- ▶活動／平成28年3月31日までに完了する活動で、他の補助金などを受けていないもの

#### ■対象経費

活動の実施に要する経費（例：印刷代、広告宣伝費、交通費、講師への謝礼金など。）  
※団体の事務所維持費など管理的な経費は対象になりません。

#### ■募集要領・応募用紙の配布場所

市民活動支援課（市役所第一庁舎5階）・各支所・各市立公民館・市民協働サポートセンター（もんぜんぶら座3階）、および市ボランティアセンター（ふれあい福祉センター1階）  
※市ホームページからダウンロードもできます。

#### ■申し込み

応募用紙に必要事項をご記入の上、1月15日(木)～2月16日(月)（土・日曜日、祝日を除く）に直接、市民活動支援課へ  
◎詳しくは、市ホームページをご覧くださいか、下記までお問い合わせください。

<お問い合わせ先> 長野市市民活動支援課

電話 224-5033 FAX 224-5103

Eメール shiminkatudo@city.nagano.lg.jp

#### ■チャレンジしたい皆さん、まずは説明会へ!

1月11日(日) 14:00～もんぜんぶら座303会議室

1月13日(火) 18:30～篠ノ井公民館 第2学習室

1月14日(水) 18:30～もんぜんぶら座304会議室

※内容はすべて同じです。また、本事業への応募に関する無料講座も併せて開催します。

## 2015年1月～3月 市民協働サポートセンター まんまる スケジュール

| タイトル                             | 日時  | 会場   | 内容   |
|----------------------------------|---|--|--|
| 初歩講座<br>「きほんのき」                  | 1月27日(火)13:30～16:00<br>2月24日(火)18:30～21:00<br>3月24日(火)13:30～16:00 | 市民協働サポートセンター<br>まんまる                         | 「NPOってなあに?」法人を設立したいという人もまずはこの講座から始めましょう。毎回ゲストに、市内NPO法人を招いて生の声を聞いています。  |
| NPOステップアップ講座<br>「ソーシャル・ビジネスのいろは」 | 3月19日(木)13:30～16:00   | もんぜんぶら座301会議室                                | 地域社会の課題をビジネス的手法によって解決するため収益性と社会貢献を両立させた事業がソーシャルビジネス。最近注目の企業形態として事例を交えてアプローチします。  |
| SCC<br>コミュニティビジネスを目指す働く世代のための交流会 | 毎月原則<br>第一金曜日13:00～15:00<br>1月9日、2月6日、3月6日                        | もんぜんぶら座内<br>802会議室 1/9・2/6<br>304会議室 3/6     | まちづくり・住まう・観光・芸術・国際化・ネット広報……いるんな分野で夢に向かって頑張る仲間と会って話そう!そしてお互いを応援しあおう!  |
| 新!元祖<br>NPOカフェ<br>まんまる           | あなたはつながっていますか?  | 1月19日(月)18:30～20:30<br>(企画/NPO青空の会)          | 市民協働サポートセンター<br>まんまる   |
|                                  | 身近な場所で“ながの”の魅力を発信する   | 2月20日(金)13:30～15:50<br>(企画/善光寺びんずる市実行委員会)    | 市民協働サポートセンター<br>まんまる   |
|                                  | 自分らしい生き方を見つめる   | 3月14日(土)10:30～12:30<br>(企画/NPO法人ライフデザインセンター) | 市民協働サポートセンター<br>まんまる   |
| 『大人の遠足』(信里編)<br>「親子きのご学校」を見学!    | 3月(予定)  | 柿の木農場  | NPO法人食育体験教室・コラボが、地元『しののけ』のきのこ栽培工場『柿の木農場』にて「親子きのご学校」を開講!子どもたちが楽しく学ぶ場を見学しにおじゃまします。おいしいきのこカレーをいただきながら、一緒にきのこのお勉強をしましょう♪お子様連れの参加も大歓迎です!! |

## ～パワフルな団体を紹介します～

## まんまるピックアップNEWS



収穫したダイコンを積み込む参加者たち

長野市を中心に、脳卒中などにより障がいのある人や、高齢者を対象とした、自立・社会参加に向けたサポート活動をしているのが「NPO法人長野リハビリ友の会」です。長野中央病院リハビリス

長野市を中心に、脳卒中などにより障がいのある人や、高齢者を対象とした、自立・社会参加に向けたサポート活動をしているのが「NPO法人長野リハビリ友の会」です。長野中央病院職員や、長野医療生協戸隠支部のメンバーが

11月1日、戸隠にあるリハビリ農園で秋の収穫祭が開かれました。20年前からスタートしたというこの事業では、収穫体験後の交流会では、採れたてのダイコン料理を囲んで、1年間の労を労いながら、合唱など日頃のサークル活動の成果を発表したり、日々の生活について報告しあ

NPO法人 長野リハビリ友の会  
☎026-234-3280

### 体と心のリハビリを NPO法人 長野リハビリ友の会



Facebookによる集客の落とし穴講座

毎月第一金曜日に行われている「ソーシャル・コミュニティ・サークル(SCC)」のメンバー有志により、11月28日に「Facebookによる集客の落とし穴講座」が長野のワークスペース CREEKSで開

催されました。これはもともと夜に同会場で開催された講座でしたが、平日の昼間にぜひ開催してほしい」と言う声を受け実現。講師は松本のコーキングスペース Krower(s)のコーディネーターで、SCCのメンバーでもある柚木真さんです。

今回の講座では、柚木さんが報発信にFacebook (FB)は欠かせません。しかし、使い方によっては思っような効果を得ることができません。今回の講座では、全面的にサポートしながら、当事者会員と共にジャガイモやダイコンを栽培。夏と秋の2回、収穫祭を開催しています。あいにくの雨の中、ボランティアスタッフなど含め50人余りが参加し、収穫作業に精を出しました。

※当センターでもフェイスブック講座をマンツーマンで行っています。(要予約)

### Facebookによる集客の落とし穴 SCC有志による自主勉強会開催

今回の講座では、全面的にサポートしながら、当事者会員と共にジャガイモやダイコンを栽培。夏と秋の2回、収穫祭を開催しています。あいにくの雨の中、ボランティアスタッフなど含め50人余りが参加し、収穫作業に精を出しました。

情報発信するときは、関連写真を入れた方が効果的。みなさん伝えたいことがたくさんありますから、文字だけになってしまっても結構あります。しかし、文字だけでなく写真を入れた方が目に留まりやすくなります。さらに撮った写真をそのまま使うのではなく、無料で使えるスマ

フォンのアプリやPCのソフトを使って画像を加工することで、より効果が上がります。これは講座で学んだ一例ですが、ただ情報を発信するのではなく、ちょっと手間を加えることでより効果的な発信ができます。今後の情報発信のためのいい勉強になりました。